CN-RX01D

Panasonic

取付説明書

SDカーナビステーション

Strada

品番 CN-RX01D
CN-RX01WD
CN-RS01D
CN-RS01WD

取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書の「安全上のご注意」(P.6～9)を必ずお読みください。

販売店様へのお願い

●取り付け後、この取付説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へのお願い

●取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

接続端子一覧

取り付けの際に、確認用としてお使いください。
配線についての詳細は「配線のしかた」をご覧ください。(P.4～8)

DSRC車載器接続端子(DSRC)
- 別売のDSRC車載器を接続する。
- 使用しないときはシールをはがさないでください。

iPod/USB中継ケーブル接続端子(iPod)
- 別売のケーブルを使って、iPodや市販のUSBメモリーを接続できます。
- 使用しないときはシールをはがさないでください。

HDMI入力端子(HDMI IN)

RX01 RX01W
HDMI出力端子(HDMI OUT)

❶ **ナビゲーションユニット**
(後面)

GPSアンテナ接続端子(GPS ANT)

排熱用ファン

周囲をふさがないでください。

拡張USBケーブル
別売のフロントインフォディスプレイを接続する。

GPS ANT
HDMI OUT
HDMI IN
DSRC iPod
DIGITAL TUNER ANT IN
FM 75Ω
POWER FUSE 15 A
AV I/F
FM/AM ANT

システムアップ用の端子です。

電源コネクター
(POWER FUSE 15 A)

ヒューズ15 A内蔵

ラジオアンテナ入力端子
(FM/AM ANT)

車両・AVインターフェース接続端子
(AV I/F)

地上デジタルアンテナ接続端子
(DIGITAL TUNER ANT IN)

マイク接続端子

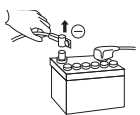
もくじ

本書の読みかた

●機種ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。

RX01 : CN-RX01D
RX01W : CN-RX01WD
RS01 : CN-RS01D
RS01W : CN-RS01WD

作業の順序

1 バッテリーの⊖端子を外す

2 アンテナや他の機器の取り付け・配線をする

●地上デジタルアンテナ
●GPSアンテナ

必ず仮止めをして、取り付ける位置を確認してください。

●他の機器
(別売のDSRC車載器、リヤビューカメラなど)

3 各種コード/ケーブルを配線する

●車両側との配線が容易にできる専用の中継コード(別売)があります。

お願い

●**ショート事故防止のため、電源コネクターへの接続は、必ず他の配線をすませてから最後に行ってください。**

4 ナビゲーションユニットを車両に取り付ける

5 バッテリーの⊖端子をもとに戻す

お願い

●**バッテリー端子取り付け用ナットは、工具を使用してしっかりと締め付けて固定してください。**

6 取り付け・配線を確認する (P.22)

取り付け・配線の前に

●取り付ける前に内容物をご確認ください。
●取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
●盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー·カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。
●ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
●作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

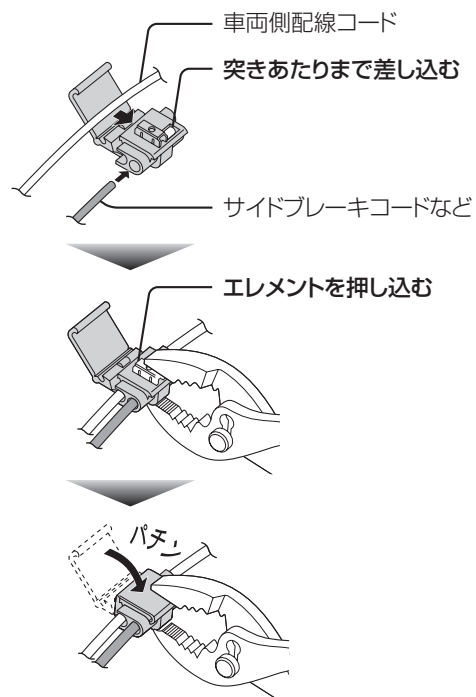
取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

お願い

●**コネクターは確実に差し込んでください。**
●**各コードに接続するコネクターが合わない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。**
●**コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで要所を固定してください。**
●**ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。**(→取扱説明書)
●**使用しないコードやコネクターは、先端をビニールテープなどで絶縁してください。**
●**キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップを外さないでください。**
●**各種アンテナコード(地上デジタル、ラジオ、GPS)は、電源コードとは別々に配線し、本機に接触しないようにしてください。また、あまった各種アンテナコードは別々に束ねてください。一緒に束ねるとアンテナの受信感度が低下したり、映像・音声にノイズが入る原因となります。**
●**スピーカーは最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ωから8 Ωのスピーカーをご使用ください。**

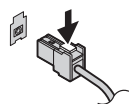
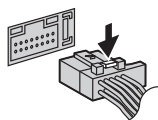
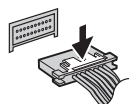
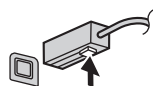
配線のしかた

圧着式コネクターの取り付けかた

指定の箇所以外に使用しないでください。

ロック付きコードの取り外しかた

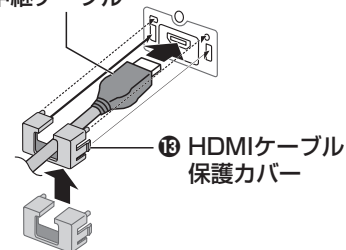
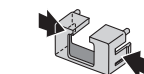
矢印の方向に押しながら、取り外す。

- 無理に引っ張ると破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取り外してください。

⑰ 地上デジタルアンテナコードA
⑱ 地上デジタルアンテナコードB

⑦ 電源コード

⑪ 車両・AVインターフェースコード

⑤ GPSアンテナのコード

保護カバーの取り付けかた（外れ防止・コネクター保護）

■ HDMIケーブル保護カバー

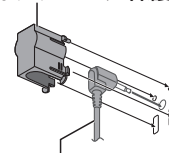
別売のHDMI接続用中継ケーブルを接続時は、必ずコネクターへ「**HDMIケーブル保護カバー**」をかぶせてください。

- HDMI入力端子（HDMI IN）を例に説明しています。HDMI出力端子（HDMI OUT）は上下が逆になります。

取り外すには

矢印の方向に押しながら取り外してください。

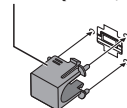
■ マイクケーブル保護カバー

付属のマイクを接続後、必ずコネクターへ「**マイクケーブル保護カバー**」をかぶせてください。

㉓ マイクケーブル保護カバー

矢印の方向に押しながら取り外してください。

■ 保護カバー（システムアップ用）

別売のシステムアップ用機器を接続時は、必ずコネクターへ「**保護カバー（システムアップ用）**」をかぶせてください。

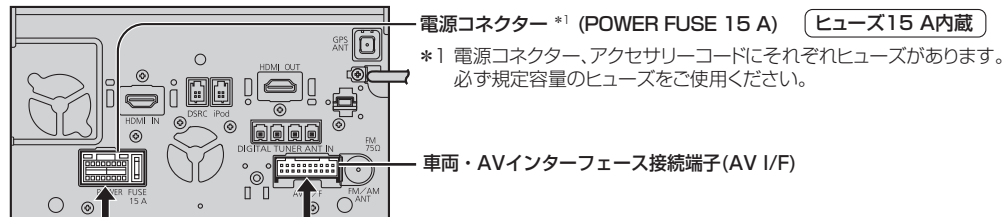
⑭ 保護カバー（システムアップ用）

取り外すには

矢印の方向に押しながら取り外してください。

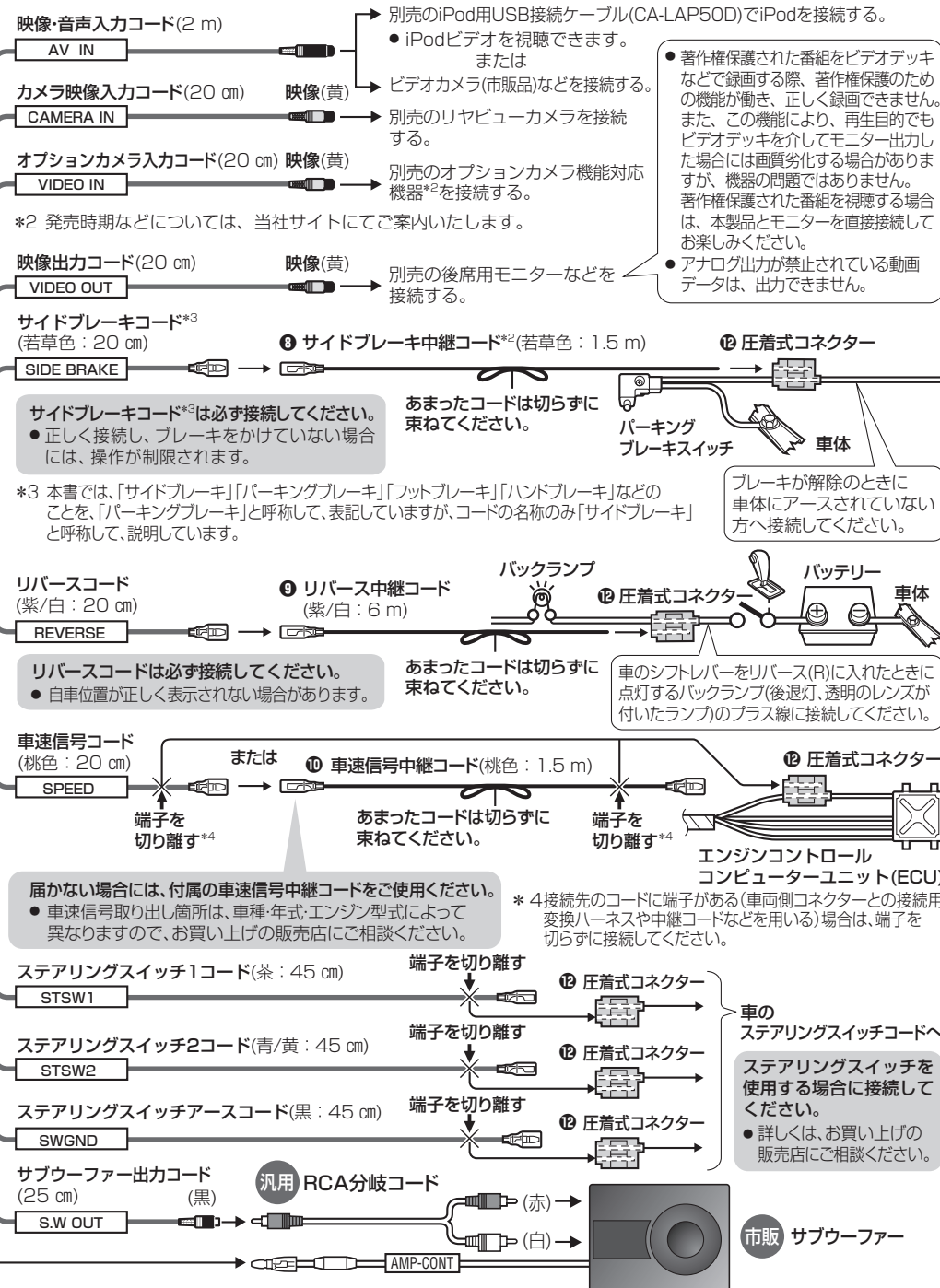
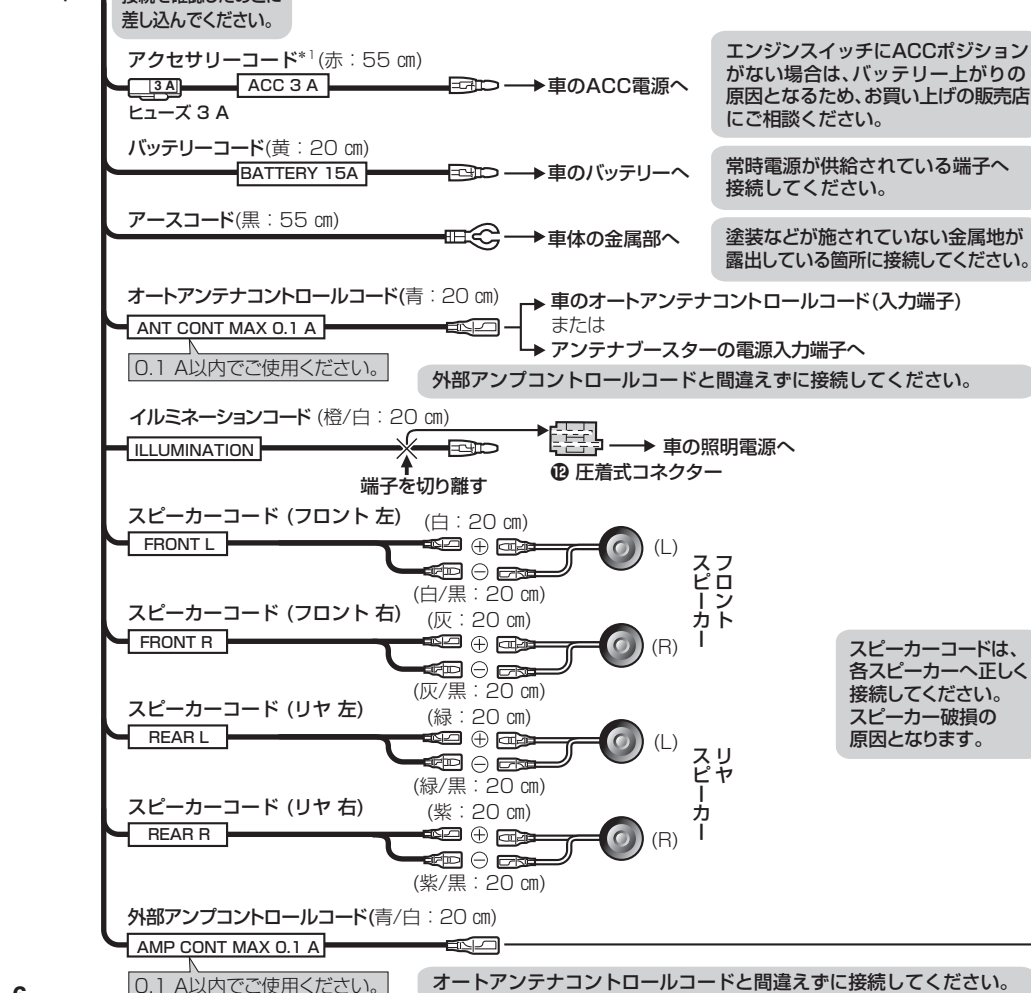
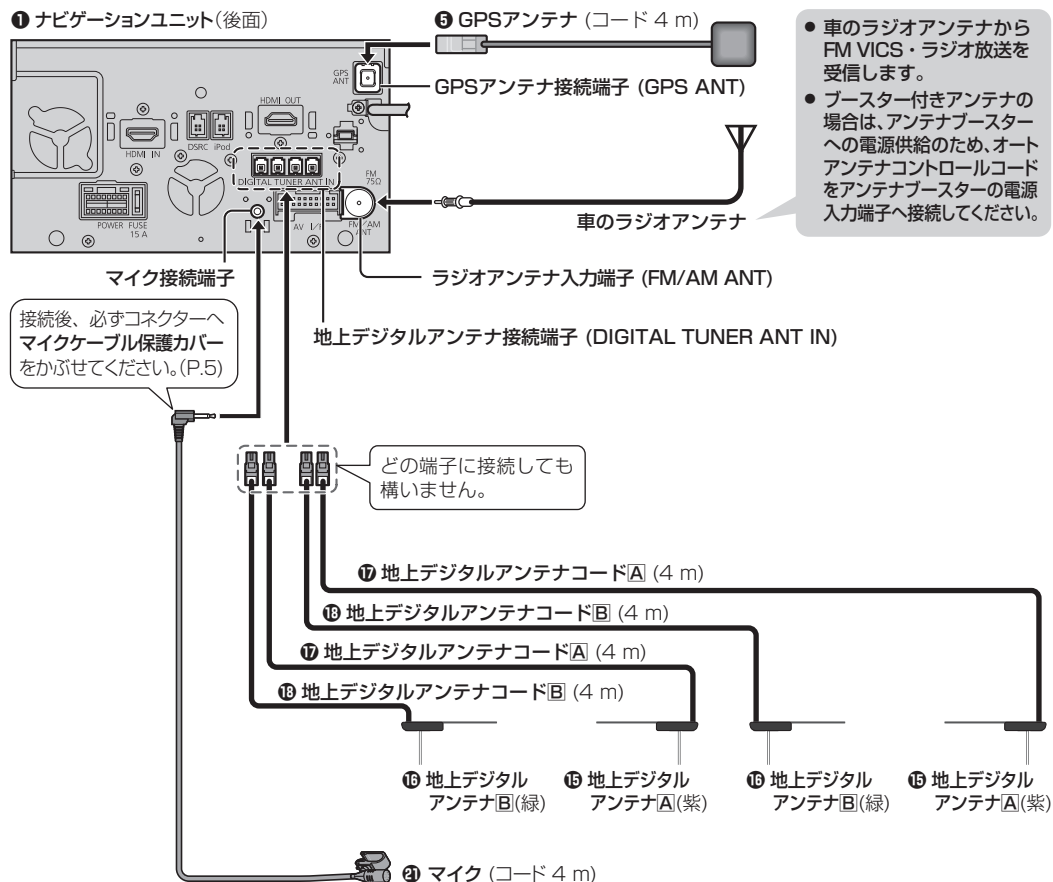
お願い

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。
  必ず、カバーのロックが解除されていることを確認してから取り外してください。
  カバーが取り外しにくい場合は、いったん押し込んでから、もう一度取り外してください。

配線のしかた（続き）

電源コード/車両・AVインターフェースコード

配線のしかた（続き）

アンテナコード/マイク

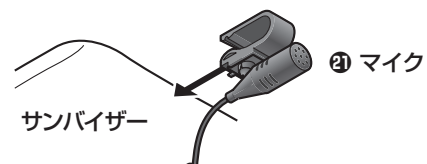
接続後、必ずコネクターへ**マイクケーブル保護カバー**をかぶせてください。(P.5)

- 車のラジオアンテナからFM VICS・ラジオ放送を受信します。
- ブースター付きアンテナの場合は、アンテナブースターへの電源供給のため、オートアンテナコントロールコードをアンテナブースターの電源入力端子へ接続してください。

マイクの取り付けかた

- 発声する人の口元から20 cm～40 cm離してください。マイクからの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると誤認識の原因になります。
- 必ず、付属のマイクを使用してください。

サンバイザーに取り付ける場合（推奨）

1 マイクをクリップで取り付ける

- 認識率がよくなるように、サンバイザーの中央または右端（左ハンドル車は左端）に取り付けてください。
- 無理に取り付けると、クリップが破損する場合があります。

2 コードを引き回す

例）ピラーの内側に配線する場合

コードをドライバーなどの先のとがったものでピラーやルーフライニングの端から無理に押し込まないでください。コードが傷つき故障の原因となります。

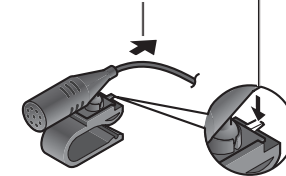
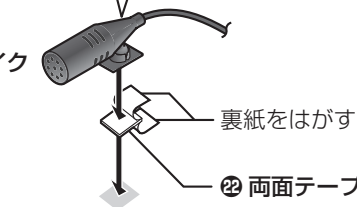
ピラーのカバーを取り外す

- ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。
- 配線後、もとに戻してください。
- **ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。**

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

ステアリングコラムカバーなどに取り付ける場合

1 マイクを両面テープで取り付ける

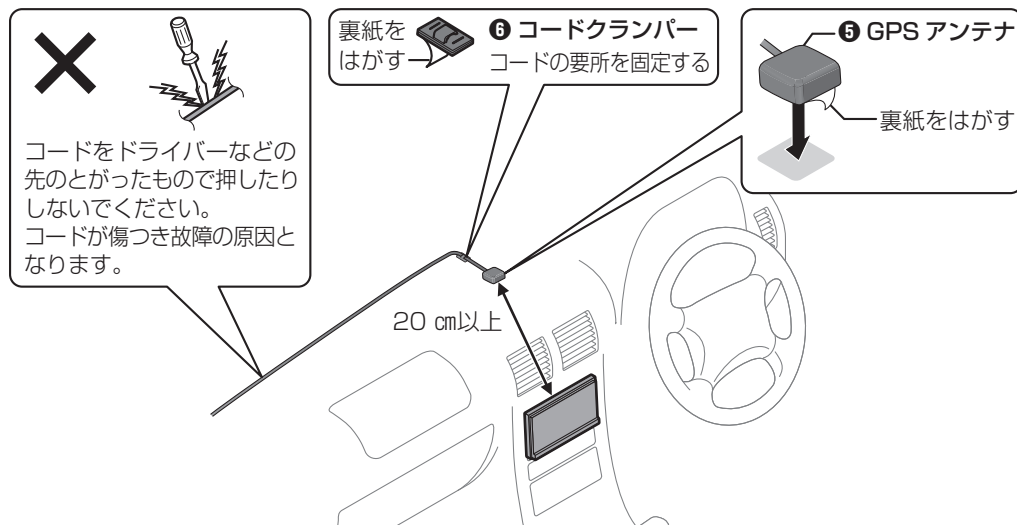
- 運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- なるべく車のスピーカーから離れた位置に取り付けてください。

2 コードを引き回す

- 運転や乗り降りの妨げにならないように、クランパーでコードの要所を固定してください。

GPSアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害による受信感度低下を防ぐため、他のアンテナから、15 ㎝以上離して取り付けてください。また、それぞれのコードは別々に(引き回しを左右別方向にするなど)配線してください。

必ず車室内(ダッシュボード上のガラス付近)に取り付けてください。
防水構造ではありませんので、車外には取り付けないでください。

お知らせ

- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。
  お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。(→取扱説明書)
- 受信状態が悪い場合は、GPSアンテナを移動して、受信状態の良い場所に設置しなおしてください。(P.22)

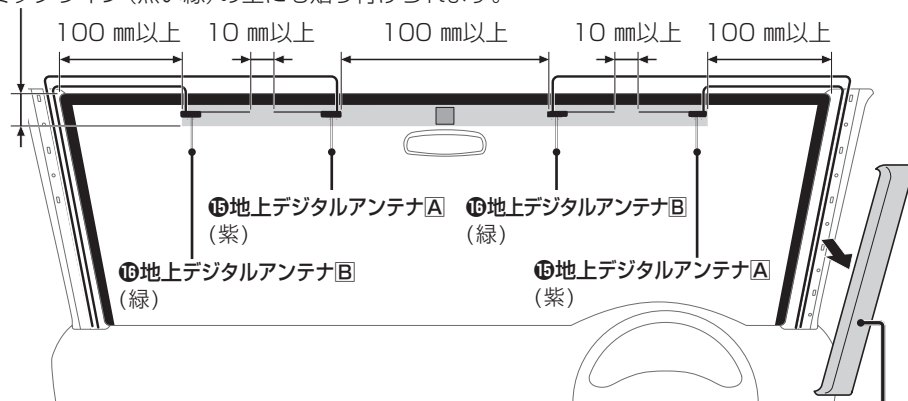
地上デジタルアンテナの取り付けかた

アンテナの貼り付け位置について

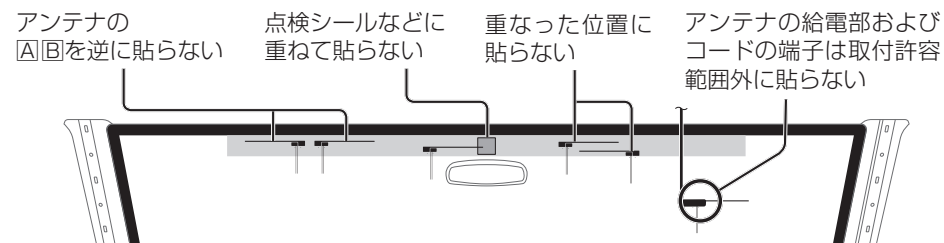
■ **性能を十分発揮するために、必ず車室内の指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。**
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- フロントガラスに車載カメラ装置や電波を通さない熱反射ガラスなどが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。地上デジタルアンテナの感度が低下する場合には、ルームミラーに近い地上デジタルアンテナ2本を、リヤクォーターガラスに設置しますので、車両により、別売の地上デジタルアンテナコード5.5 m (CA-LDT550D) が必要となります。

■ **国土交通省の定める保安基準*1 に適合させるため、アンテナの給電部およびコードの端子は、必ず取付許容範囲内(下図の　　部)に貼り付けてください。**

＊1 道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37

取付許容範囲：　部
アンテナの給電部をフロントガラスの上端から25 ㎜以内に貼り付けてください。
セラミックライン(黒い縁)の上にも貼り付けられます。

ピラーのカバーを取り外す
- ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。
- 配線後、もとに戻してください。
- **ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。**

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

下記のような貼り付けは、絶対にしないでください。
- 国土交通省の定める保安基準に適合しない場合があります。
- アンテナの性能を十分に発揮できません。

地上デジタルアンテナの取り付けかた（続き）

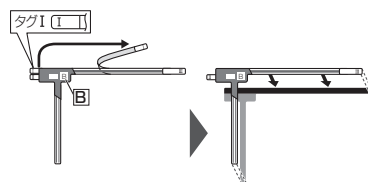
取り付ける前に

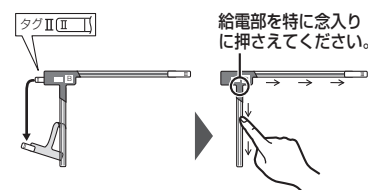
- **アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。**
- **貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面（ガラス面、ピラー）の汚れ（ごみ・ほこり・油）などをきれいに拭き取り、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。**
  ・ガラス面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
  ・気温が低いとき(20 ℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。
  ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- **仮止めして、貼り付ける位置と左右の向きをご確認ください。貼りなおせません。**
- **糊面や給電部に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。**
- **妨害による受信感度低下を防ぐため、他のアンテナから20 cm以上離して貼り付けてください。**
- **車種によって、性能が発揮できない場合があります。**
  熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。

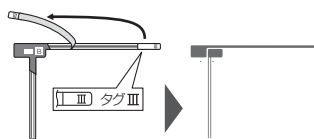
ガラスにアンテナを貼り付ける

地上デジタルアンテナ[B]（緑）を例に説明しています。[A]（紫）も左右対称にして同様に取り付けてください。必ず指定の位置に、正しい向きで取り付けてください。

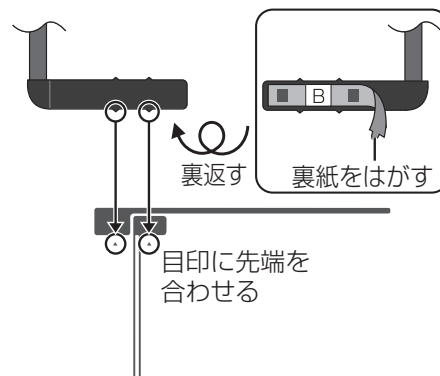
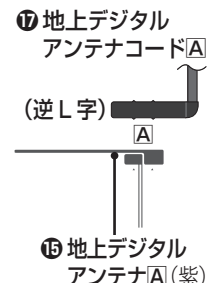
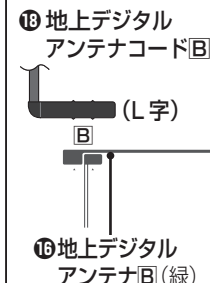
1 タグⅠを持ってセパレーターをはがし、貼り付ける

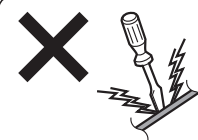
- 強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因となります。
- 貼付位置を確認してから貼り付けてください。

2 タグⅡを持ってセパレーターをはがし、アースパターン/給電部/エレメントをしっかりガラス面に密着させる

- 貼り付けたあと、矢印の方向に、指などで均等に押し付け、ガラス面に密着させてください。
- 車外から見て、ガラスに密着していることを確認してください。

3 タグⅢを持って、フィルムをゆっくりとはがす

- アースパターン/給電部/エレメントが貼り付いていることを確認してください。
- フィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻して全体を上からこすり、再度はがしてください。

4 他の３枚も同様に貼り付ける

アンテナコードを貼り付ける

1 端子をエレメントの給電部に貼り付ける

2 コードを引き回す

- **他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。TVの音声に雑音が入る原因となります。**

アンテナコードをドライバーなどの先のとがったもので、ピラーやルーフライニングの端から無理に押し込んだりしないでください。
コードが傷つき故障の原因となります。

3 他の３本も同様に取り付ける

4 アンテナコードをナビゲーションユニットに接続する

（→P.8「アンテナコード/マイクの配線」）

ナビゲーションユニットの取り付けかた

1 取り付け金具(ブラケット)を取り付ける

RX01 RS01

穴の形状に合わせてねじを選んでください

不安定な場合は

スペーサーを両面テープで、取り付け金具(ブラケット)に貼り付けてください。

❷ 座付きねじ
(M5×6 ㎜)

取り付け金具
(ブラケット)
❹ スペーサー
❹ 両面テープ

RX01W RS01W

❷ 座付きねじ
(M5×6 ㎜)

■ 使用するねじ穴について

●トヨタ車・ダイハツ車の場合
「T」の刻印があるねじ穴(○)のうち、4カ所を選んで取り付けてください。

●日産車・スバル車の場合
「N」の刻印があるねじ穴(●)に取り付けてください。

●上記以外の車の場合
お買い上げの販売店にご相談ください。

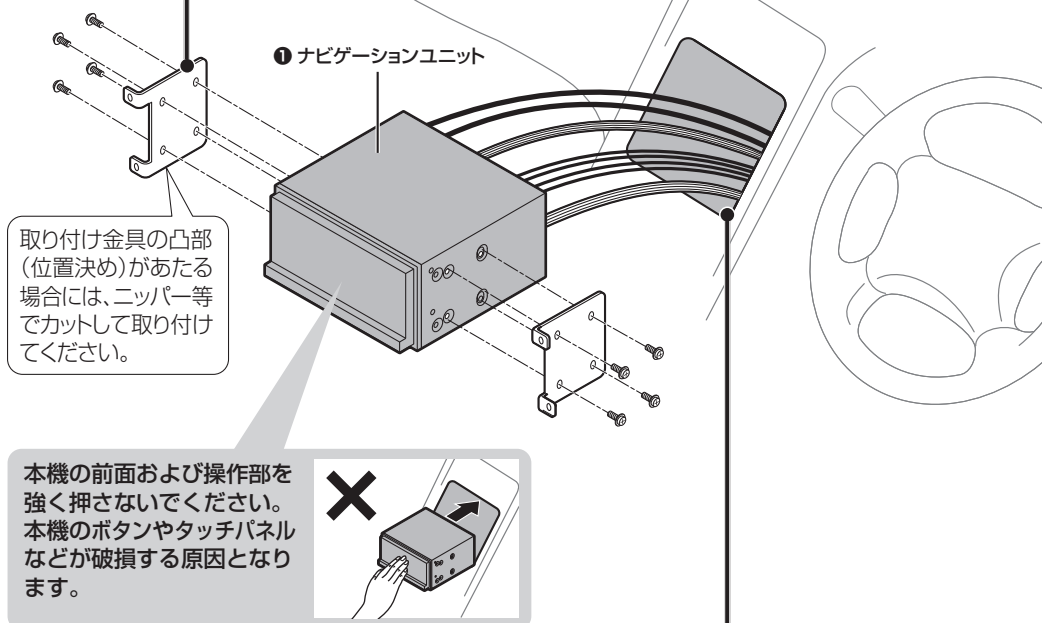
部のねじ穴に取り付けるときは

スペーサーを両面テープで、取り付け金具(ブラケット)に貼り付けてください。

取り付け金具
(ブラケット)
❹両面テープ
❹スペーサー

お願い

●故障の原因となりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。

●車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。
●年式・車種・グレードにより、専用キット(別売)が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機の前面および操作部を強く押さないでください。本機のボタンやタッチパネルなどが破損する原因となります。

2 ナビゲーションユニットをオーディオスペースに取り付ける

RX01 RS01

■寸　法
幅180 ㎜×高さ100 ㎜(2DINサイズ)

■角　度
水平に対して40°以下

RX01W RS01W

■寸　法
開口部：幅200 ㎜×高さ100 ㎜
取付部：幅180 ㎜×高さ100 ㎜(2DINサイズ)

■角　度
水平に対して40°以下

●取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。

お願い

●オーディオスペースに無理に押し込まないでください。配線(コネクターやコード)に負担がかかり、接続不良の原因となります。

お知らせ

●オーディオスペースの形状や寸法により取り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

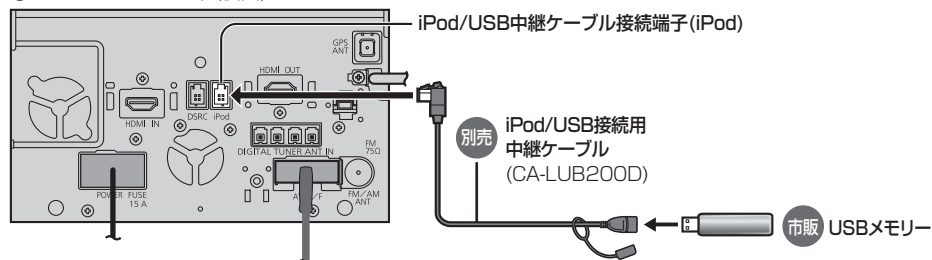
他の機器と組み合わせて使う

組み合わせる前に

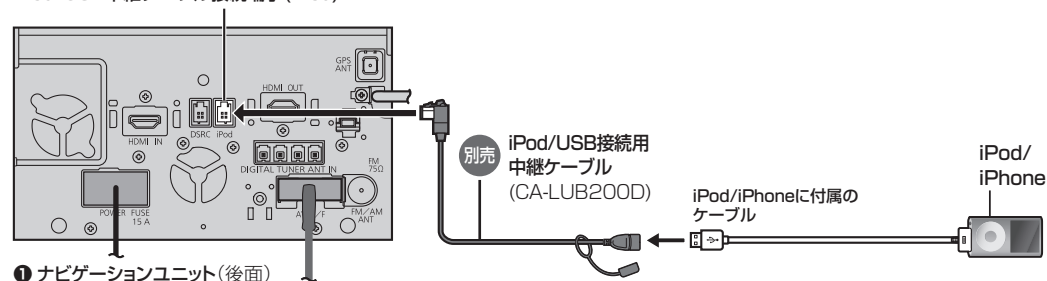
- コネクターは確実に差し込んでください。
- ケーブルやコネクターが足で踏まれたり、運転や乗り降りの妨げにならないように、市販のクランパーやテープなどで要所を固定してください。
- 推奨品以外はご使用になれない場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 使いかたについては、取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の説明書も、よくお読みください。

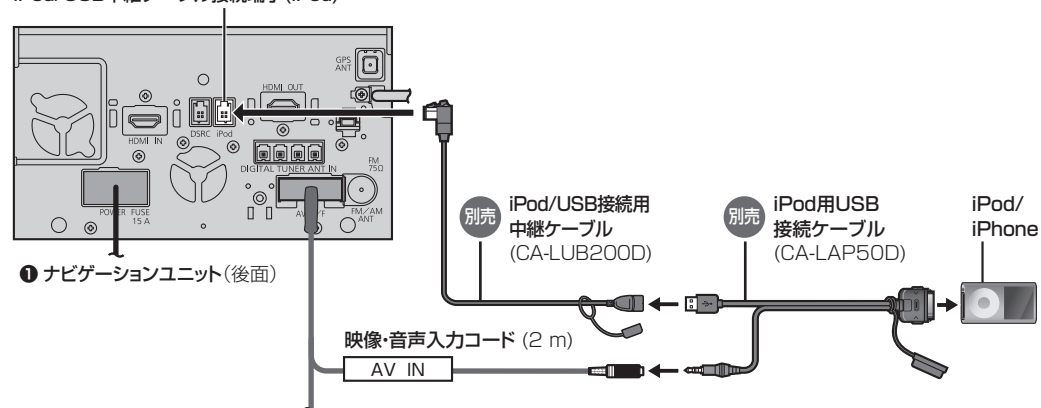
■ iPod/USBメモリー/スマートフォン使用時のお願い

- 必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル（CA-LUB200D）で接続してください。
  他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
- iPod/スマートフォンは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- 取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- 運転中に動かないように市販のホルダーなどでしっかり固定してください。
- 固定する際は、エアバッグの動作を妨げないようにしてください。
- 車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- 高熱部や車体の金属部、ヒーターの熱風や直射日光を避けて配線してください。
- 使用しないときは必ずコネクターにカバーやキャップをかぶせて保護してください。
- 適合機種については、取扱説明書および当社サイトをご覧ください。

USBメモリー

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。

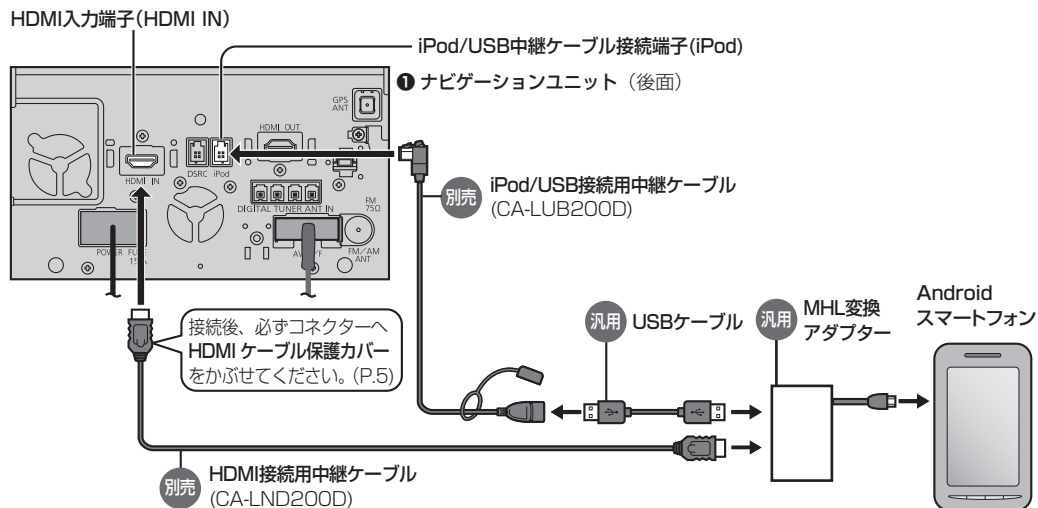
iPod（iPhone）

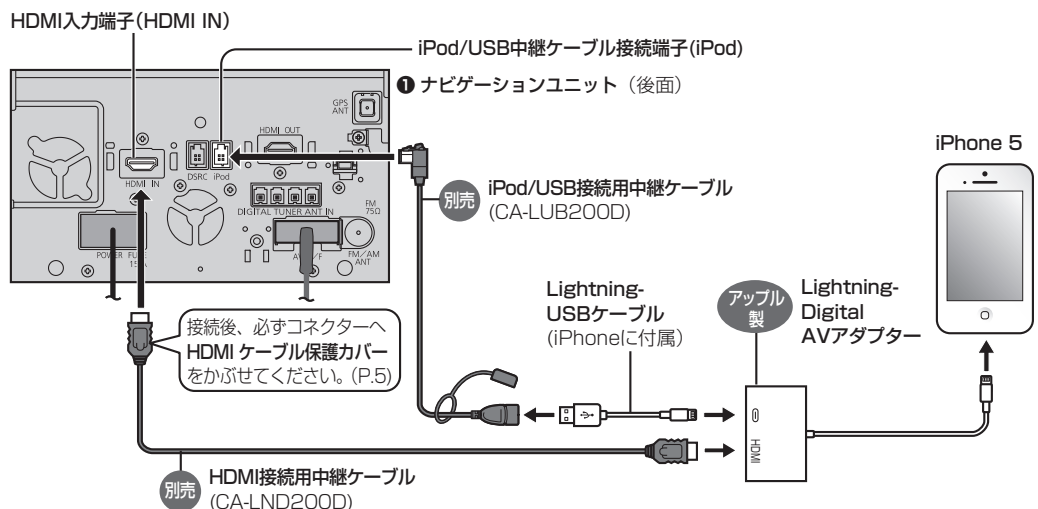
iPodミュージックを再生する場合

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodに付属のUSBケーブルで本機とiPodを接続した場合、iPodビデオを本機で視聴できません。
  本機でiPodビデオを視聴するには、別売のiPod用USB接続ケーブル（CA-LAP50D）でiPodを接続してください。他のケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
- Drive P@ss利用時の接続方法は→P.18

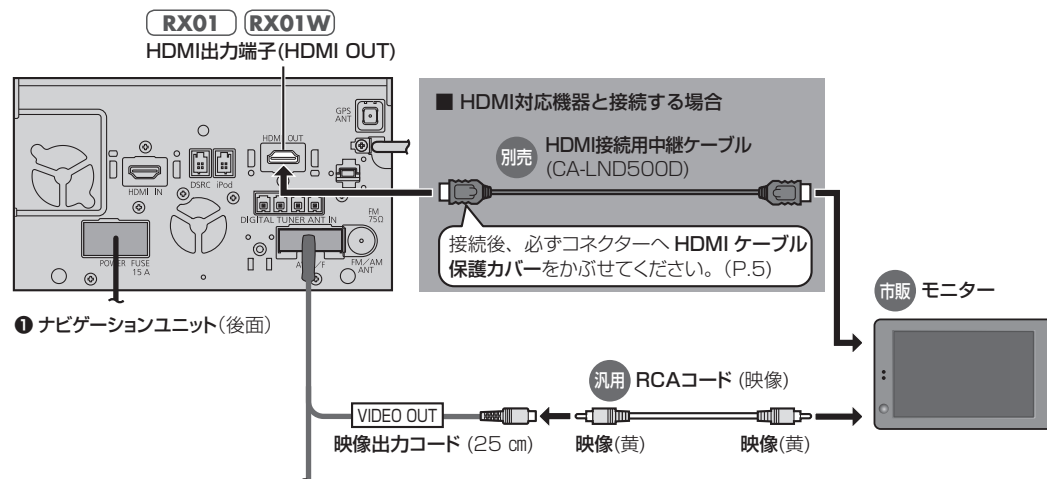
iPodビデオを再生する場合

- iPodミュージックも再生できます。
- 映像・音声入力コードでビデオカメラを接続する場合は、同時に接続できません。
- Lightningコネクターを持つiPodは、iPodビデオ再生には対応していません。
- Drive P@ss利用時の接続方法は→P.18

スマートフォン(Drive P@ssを利用する)

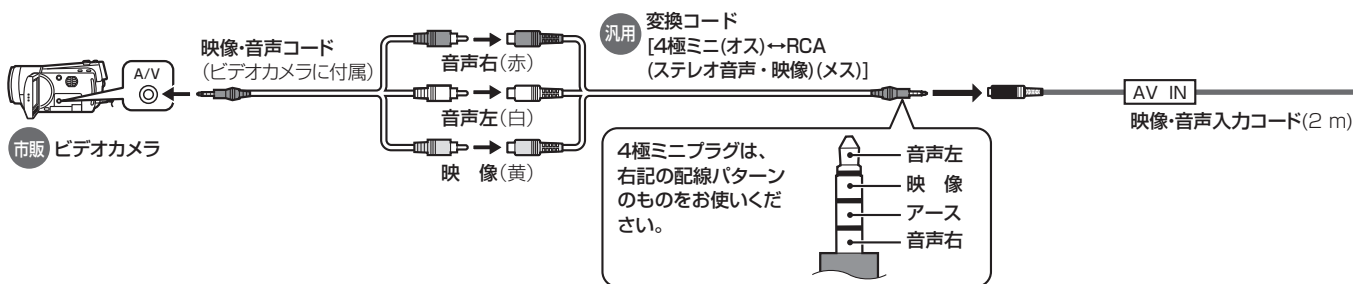
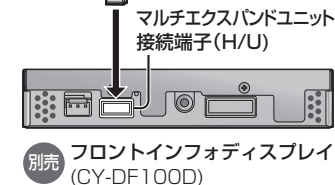
●スマートフォンによって必要なケーブルや機器が異なりますので、ご確認ください。
●音声認識、および「ここいこ♪」を利用する場合は、スマートフォンをケーブルで接続する必要はありません。

Androidスマートフォンを接続する場合

●接続するスマートフォンに適合したMHL変換アダプターやUSBケーブルをご使用ください。

iPhone 5/iPhone 5s/iPhone 5cを接続する場合

●Drive P@ssを利用しながらiPodミュージックを再生することはできません。
Drive P@ss利用中は、Drive P@ss用のアプリ「Music Player for Drive P@ss」を使ってiPhone内の音楽を再生するか、配線を変えてiPodミュージックを再生してください。(P.17)

後席用モニター

RX01 RX01W

●BDMV、BDAV、AVCHD、AVCRECの映像を見る場合は、後席用モニターをHDMI入力のモードに切り換えてください。(VTRでは視聴できません。)
●VTRまたはiPodビデオの映像を見る場合は、後席用モニターを映像入力(VTR)のモードに切り換えてください。(HDMIでは視聴できません。)
●HDMI、Drive P@ssの映像は、後席用モニターに出力できません。
●HDMI接続用中継ケーブルの抜き差しをしたり、後席用モニターの電源をOFF/ONすると、画面が乱れる場合があります。

他の機器と組み合わせて使う（続き）

電源を入れる

1 車のエンジンをかける(ACCをONにする)
- 本機の電源が入ります。

2 警告画面の注意事項を確認して、確認を選ぶ
- 現在地画面(自車位置)が表示されます。

3 見晴らしの良い場所で、方位マークが黄色になっていることを確認する

- しばらくたっても自車位置が表示されないときは、GPS情報から受信状態を確認してください。(下記)
- 正しい自車位置が表示されていないと、学習レベル(P.23)は正しく表示されません。

ツートップメニューを表示させる

MENU を押す
- ツートップメニューが表示されます。

GPS情報を確認する

1 ツートップメニュー(上記)から、情報・設定を選び、情報→GPS情報を選ぶ

2 GPS情報を確認する

車両信号情報を確認する

1 ツートップメニュー(左記)から、情報・設定を選び、情報→車両信号情報を選ぶ

2 車両信号情報を確認する

3 センサー学習値初期化を選ぶ
- 車速パルスと学習レベルが初期化されます。初期化後は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、約10秒以上過ぎてから再度電源を入れてください。

4 車速パルスを確認する
- 現在地画面を表示させ、車両を少し移動させたあと、車速パルスを確認する

販売店様へのお願い
- 以下はお客様にご確認いただくようご依頼ください。

5 学習レベルを確認する
- 現在地画面を表示させ、見晴らしの良い場所をしばらく(60分以上)走行したあと、各項目を確認する

拡張ユニット情報を確認する

1 ツートップメニュー(左記)から、情報・設定を選び、情報→拡張ユニット情報を選ぶ

2 拡張ユニット情報を確認する

車種を設定する

1 ツートップメニュー(左記)から、情報・設定を選ぶ

2 システム設定を選び、その他設定を選ぶ

3 車種設定を選ぶ

4 車種を選び、完了を選ぶ

項目	確認内容
走行状態(パーキングブレーキ)	パーキングブレーキ*[1]を引くと、「停車」に、解除すると「走行」に変わりますか?
リバース	シフトレバーをリバース(R)に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか?
スモールランプ	車のスモールランプを点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか?

項目	確認内容
車速パルス	走行後、数字が変化していますか?

項目	確認内容
学習レベル	走行後、数字が変化していますか? ●距離:Level 1~Level 5 ●回転:Level 1-1~Level 5 ●3D:Level 1~Level 5

＊1 本書では、「パーキングブレーキ」「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」などのことを、「パーキングブレーキ」と呼称して、表記しています。

お知らせ
- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
  ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す ・右左折が多い ・右左折が極端に少ない ・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
  ・別の車に本機を載せかえた ・タイヤを交換した ・タイヤをローテーションした
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

項目	確認内容
iPod*[2]	iPodを接続している場合、ON表示になっていますか?
USB*[2]	市販のUSBメモリーを接続している場合、ON表示になっていますか?
DSRCユニット	別売のDSRC車載器を接続している場合、ON表示になっていますか?
マルチエクスパンドユニット	別売のフロントインフォディスプレイ(CY-DF100D)を接続している場合、ON表示になっていますか? ●フロントインフォディスプレイの「**マルチエクスパンドユニット**」と「**本機**」の接続を確認します。
プロジェクションユニット	別売のフロントインフォディスプレイ(CY-DF100D)を接続している場合、ON表示になっていますか? ●フロントインフォディスプレイの「**プロジェクションユニット**」と「**マルチエクスパンドユニット**」の接続を確認します。

＊2 同時には接続できません。

項目	設定		
車種	●軽自動車	●小型車両	●普通車両
	●中型車両	●大型車両	●特定車両
	[お買い上げ時の設定:小型車両]		

内容物の確認

番号	品　名		数量
ナビゲーションユニット関係			
❶	ナビゲーションユニット		1
	地図SDHCメモリーカード(本機に挿入済み)		1
❷	座付きねじ (M5 × 6 ㎜)		8
❸	RX01 RS01 皿ねじ (M5 × 6 ㎜)		8
❹	スペーサー/両面テープ		各4
GPSアンテナ関係			
❺	GPSアンテナ(コード4 m)		1
❻	コードクランパー		4
コード/ケーブル関係			
❼	電源コード		1
❽	サイドブレーキ中継コード(若草色:1.5 m)		1
❾	リバース中継コード(紫/白:6 m)		1
❿	車速信号中継コード(桃色:1.5 m)		1
⓫	車両・AVインターフェースコード		1
⓬	圧着式コネクター		7
⓭	HDMIケーブル保護カバー＊1	RX01 RX01W	2
		RS01 RS01W	1
⓮	保護カバー＊2(システムアップ用)		1

番号	品　名	数量
地上デジタルアンテナ関係		
⓯	地上デジタルアンテナA(紫)	2
⓰	地上デジタルアンテナB(緑)	2
⓱	地上デジタルアンテナコードA (4 m)	2
⓲	地上デジタルアンテナコードB (4 m)	2
⓳	コードクランパー	8
⓴	クリーナー	1
マイク関係		
㉑	マイク(コード4 m)	1
㉒	両面テープ	1
㉓	マイクケーブル保護カバー	1
㉔	コードクランパー	4

主な添付品

品名	数量
取扱説明書	1
取付説明書(本書)	1
保証書	1

- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

＊1 別売のHDMI接続用中継ケーブル接続時に使用します。使用しないときは紛失しないように保管、または、ナビゲーションユニットの後面に取り付けてください。

＊2 システムアップ用機器の接続時に使用します。紛失しないように保管、または、ナビゲーションユニットの後面に取り付けてください。

お知らせ

- 本機は「B-CASカード」を付属しておりません。B-CASカード不要で、地上デジタル放送を視聴できます。

パナソニック株式会社
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社

〒224-8520　横浜市都筑区池辺町4261番地